がん化学療法指示書

登録番号　234
作成日　2019/1/9

レジメン名	PEM+Pembrolizumab
診療科・対象疾患	(呼)非扁平上皮非小細胞肺癌
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	PDになるまで

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
キイトルーダ	ペムブロリズマブ	200mg/body	Day1
ペメトレキセド	ペメトレキセド	500mg/m2	Day1

治療内容

注射

滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール day1						day21
Rp1		生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用	●						
Rp2		生理食塩液	100mL	15分	点滴静注メイン	●						
		デキサート注(6.6mg)	1瓶									
Rp3	**癌**	**キイトルーダ(ペムブロリズマブ)**	200mg	30分	点滴静注メイン	●						
		生理食塩液	100mL									
Rp4		生理食塩液	50mL	15分	点滴静注メイン	●						
					経過観察用							
Rp5	**癌**	**ペメトレキセド**	500mg/m2	10分	点滴静注メイン	●						
		生理食塩液	100mL									
		総量100mLにする										

内服

その他必要薬剤	・デカドロン(デキサメタゾン)4mg:2錠　朝食後に内服(day2,3) ・葉酸:1日1回0.5mg(パンビタン末1g)を初回治療前の7日前から服用し、最終治療後21日後まで連日服用 ・ビタミンB12:1mg(メチコバール500μg2A)を初回治療1週間前および以降は3サイクル(9週)毎に筋肉注射
総投与時間	総投与時間:1時間10分
血管外漏出リスク	キイトルーダ(ペムブロリズマブ):非壊死性抗がん剤 ペメトレキセド:非壊死性抗がん剤
投与時の注意事項	キイトルーダ(ペムブロリズマブ)はフィルター付きルート要 ペメトレキセドはNSAIDSとの併用は注意(ペメトレキセドの血中濃度が増加し副作用が増強される可能性がある)
備考欄	Infusion Reaction Grade2の場合、キイトルーダ(ペムブロリズマブ)の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する。 Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーワ10mg　5錠 アセトアミノフェン300mg　2錠 注:臨床試験ではデキサメタゾンを投与前日、投与日、投与翌日に8mg/dayで内服しているが、当院でのレジメン登録ではday1～day3に投与する。